

vol.158

2021.8

発行
東北地方整備局
営繕部
盛岡営繕事務所

営繕とうほく

EIZEN TOHOKU



【東北森林管理局森林技術・支援センター】

CONTENTS

完成施設紹介【東北森林管理局森林技術・支援センター】	2～3
就活ゼミ～官民の立場から施設づくりの仕事を紹介～ 業界の担い手確保に貢献	4
令和3年度 優良工事表彰	5～7
令和3年度 東北地方整備局 管内業務発表会が開催されました	8
保全ニュースとうほく ・台風への事前の備えについて ～台風シーズンを迎えています～	9～10

完成施設紹介

【東北森林管理局森林技術・支援センター】

東北森林管理局森林技術・支援センターは、森林技術・支援センターと津軽森林管理署金木支署中里森林事務所が入居し、民有林への技術支援、地域で求められる林業技術の開発・普及に関する業務を行っています。

新庁舎は、旧庁舎の老朽化に伴う施設不備の解消と津軽森林管理署金木支署中里森林事務所との合築による施設の効率的な管理・運営を目的として計画されました。周辺地域に溶け込む外観と、必要な機能、性能を確保するとともに、木材の積極的な利用、ユニバーサルデザインの導入、環境負荷低減への貢献など、社会的ニーズに的確に対応し、利用者の利便性に配慮した庁舎となっています。

長期に渡る工事でしたが、入居官署及び周辺にお住まいの皆様のご協力のもと、平成29年の設計開始から約5年の歳月を経て、この度、無事に施設が完成しました。



(写真) 玄関外観

【施設概要】

施設名：東北森林管理局
森林技術・支援センター
場所：青森県北津軽郡中泊町大字
中里字亀山 540-8
規模構造：木造 2階建
建築面積：249 m²
延べ面積：316 m²
付 属 棟：車庫
入居官署：・森林技術・支援センター
・津軽森林管理署金木支署
中里森林事務所

【設計概要（外観・配置計画）】

外観は深い軒、軒桁現しの構造などを取り入れ、周辺地域に溶け込むデザインとしています。

配置では、前面道路からのアプローチのしやすさや重機による効率的な除雪作業などを考慮し、庁舎利用者の利便性と多雪地域に配慮した計画としています。



(写真) 北西側外観

深い軒、軒桁現しの構造、切妻屋根など周辺地域の建物の多くが採用しているデザインを採用しています。屋根・外壁は金属系仕上げを採用しており、長期的なメンテナンスコストの低減を図っています。また外壁は施工性とメンテナンス性を考慮して縦貼り・横貼りを採用し、変化に富んだ外観に見せるように工夫しています。

【設計概要（平面構成）】

規模が大きい森林技術・支援センターの事務室を1階に、津軽森林管理署金木支署中里森林事務所の事務室を2階に配し、各階に水回りや専用倉庫を設けることで、それぞれの事務作業を各階で完結する計画としています。



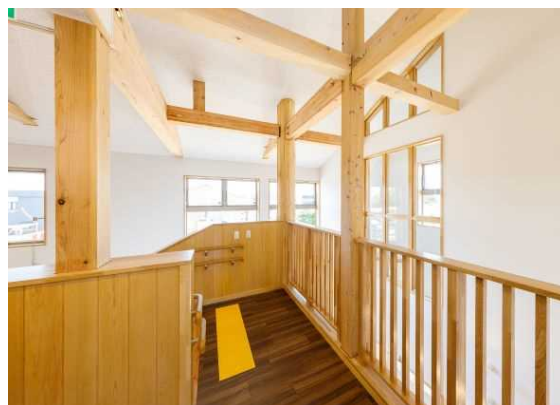
(写真)左：1階事務室 右：2階会議室
壁面仕上げ材に木材を用いることで、木の香りに包まれた暖かみのある空間としています。

【木材利用の推進に関する取り組み】

事務室・廊下などの壁面仕上げ材に木材を使用し、1階ホール・階段においては CLT パネル（直交集成板）やヒバ丸太柱を使用するなどし、国の施策として木材利用の推進に取り組んでいます。



(写真)1階ホール・展示室
CLT パネルやヒバ丸太材を使用し、かつ自然採光を積極的に取り入れることで、暖かみのある空間づくりを図っています。



(写真)2階ホール
構造材や方杖を現すなど木材を印象的に見せる工夫をしています。

電力設備：電灯設備
動力設備
電熱設備

通信設備：構内情報通信網設備
構内交換設備
誘導支援設備
テレビ共同受信設備

空調設備：空気調和設備
換気設備
衛生設備：衛生器具設備
給水設備
排水設備
給湯設備
浄化槽設備

設計：東北地方整備局営繕部
株式会社構建築設計事務所
監理：東北地方整備局盛岡営繕事務所
株式会社青和設計
施工：北斗建設株式会社
工期：令和2年3月3日～
令和3年5月26日

令和3年度 優良工事表彰

優良工事表彰式の開催

令和3年7月21日、仙台国際センターにおいて「令和3年度東北地方整備局国土交通行政関係功労者表彰式」（優良工事 東北地方整備局長表彰）を行いました。

また、盛岡営繕事務所では、令和3年7月29日、盛岡合同庁舎共用会議室において「令和3年度営繕優良工事表彰式」（盛岡営繕事務所長表彰）を行いました。

これらの表彰は、令和2年度に工事が完成し、工事成績評定が優秀で、積極的な創意工夫がなされるなど、建設業における事業の推進に功績があった施工企業を表彰するものです。

優良工事表彰（東北地方整備局長表彰）

工事名称：築館地方合同庁舎（19）機械設備改修工事

施工会社：大成温調 株式会社 東北支店

本工事は、設置から30年以上経過した空気調和設備について庁舎の機能回復を図るための改修工事です。

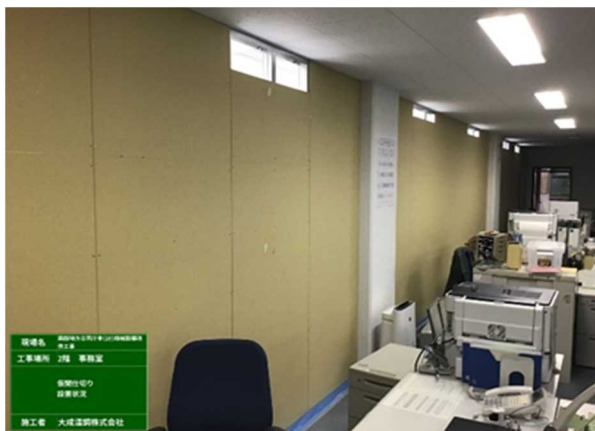
庁舎を使用しながら行う改修工事であることから、大きな振動や騒音等が発生する作業は閉庁日に限られるなど、入居官署の業務に支障をきたさないような施工計画や工程管理が求められました。

受注者は、開庁日には発電機の運転音を軽減するために防音BOXを設置したり、新型コロナウイルス対策として仮設間仕切りに換気用の開口部を設置するなど職員や来庁者への配慮を行うことで、施設管理者からの信頼を得ることにつながりました。

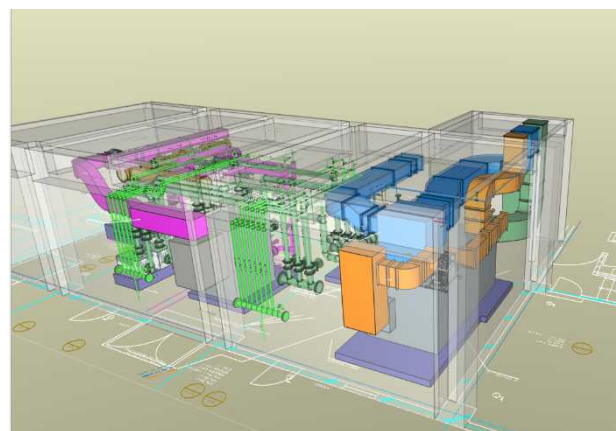
また、機械室の空調機器の更新において、内部空間や既存設備を3Dカメラでスキャンしモデリングを行うことで、BIM^{*}・3D技術を活用して納まり検討図を作成することにより現地に何度も訪れることなく施工図を作成することができ、関係者間での課題の早期解決につなげることができました。結果的に施工着手までの時間が確保され、施工品質の向上に寄与することができました。

以上の理由から、他の模範とするにふさわしい優良工事として選定しました。

^{*}BIM：「Building Information Modeling」の略



【仮設間仕切設置状況】



【BIM・3D図面】

優良工事表彰（東北地方整備局長表彰）

工事名称：黒石税務署（19）建築工事

施工会社：株式会社 南建設

本工事は、黒石税務署の老朽化に伴う施設不備の解消、ならびに耐震性能不足の解消を目的として、税務署庁舎、車庫、自転車置場の新築、および外構一式を整備したものです。

施工にあたり、受注者は品質の向上、安全衛生管理にかかる様々な取組について意欲的に発議提案し、関係者間で意志共有を図りながら施工計画にまとめあげて、無事故かつ期限内に高い品質で工事目的物を完成させました。

建設業の担い手育成に関しても積極的な姿勢を持ち、自発的にCCUS^{※1}を導入し活用を図りました。

また、配筋検査、超音波探傷試験、生コン受け入れ試験については、社として新たな試みであるリモート検査を導入したほか、完成検査における書面検査はASP^{※2}を活用して行うなど、コロナ渦を踏まえて対応を工夫しています。

外構工事に際しては、隣地への影響が避けられない状況の中、隣地住民との調整と併せ入念な現況調査を実施、最も影響の少ない工法を提案してトラブルなく工事を完了させました。

※1 CCUS：「建設キャリアアップシステム（Construction Career Up System）」の略

※2 ASP：「情報共有システム（Application Service Provider）」の略



【黒石税務署 外観（正面）】

優良工事表彰（盛岡営繕事務所長表彰）

工事名称：黒石税務署（R01）電気設備工事

施工会社：張山電気 株式会社

本工事は、黒石税務署の老朽化に伴う施設不備の解消、ならびに耐震性能不足の解消を目的として、税務署庁舎、車庫、自転車置場の新築、および外構の電気設備一式を整備したものです。

乗り込み時期が異なる関連工事受注者間の相互調整に積極的、協力的に取り組み、定められた工期内に無事故かつ高品質で工事を完了させたことが高く評価されました。

また、現場の安全教育の一環として、VRゴーグルを用いて作業場所における危険予知に関する体験講習を独自に実施したほか、電気保安訓練においても、写真を豊富に活用し、危険箇所を分かりやすく整理するなど、安全管理にも積極的に取り組みました。

工事名称：盛岡職安（20）機械設備改修工事

施工会社：株式会社 トライス

本工事は、盛岡公共職業安定所における経年劣化に伴う空調機器の不具合の解消、ならびに執務環境の改善、向上を目的とした空気調和設備一式の改修工事です。

庁舎の天井裏には施工に支障のある業務システムケーブルが大量に敷設されており、入居官署の業務を継続しながら空調設備の全面更新を行うために、綿密な協議と調整を行い、併せて詳細かつ入念な事前調査を実施して無事故かつ高品質で工事を完了させました。

働き方改革の推進にも前向きであり、入居官署の業務に支障を及ぼさない工程の調整と週休2日の達成を両立しています。

また、騒音作業時に自主的に防音板を設置するなどの近隣住民への配慮、及び現場周辺の除草、除雪を実施するなど、地域、社会貢献活動も高く評価されました。



【所長を中央に記念撮影（左：張山電気 株式会社 右：株式会社 トライス）】

令和3年度 東北地方整備局 管内業務発表会が開催されました

東北地方整備局管内業務発表会は、地域のニーズに的確に対応した社会資本整備を進めていくうえで、必要となる技術、行政・法令及び経済分野の調査・研究成果の討議の場の確保、発表者の自己表現・創造力開発技能の向上を図ることを基本方針として、整備局・地方公共団体・関係団体等に加え、民間企業からも論題を募集し毎年開催しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web 会議システムを活用し、6月24日（木）・25日（金）の2日間にわたり、「防災」、「メンテナンス」、「業務の効率化」、「新技術」、「インフラ活用・アカウントビリティ」、「マネジメント」の6つのテーマで、それぞれ発表が行われました。営繕関係では、下記6題の発表が行われ、東北地方整備局営繕部整備課 佐藤さんが優秀賞を受賞しました。

テーマ	論 題	所 属	発表者 (敬称略)
防災	山形県総合文化芸術館整備事業における防災拠点機能について	山形県 県土整備部 建築住宅課 営繕室	稲場 泉吹
防災	郡山合同庁舎の耐震改修工事について	福島県 生活環境部 自然保護課 (前・県中建設事務所 建築住宅課)	渡邊 郁恵
メンテナンス	あきたスカイドームの膜屋根更新について	秋田県 建設部 営繕課	小林 真衣
メンテナンス	東北地方整備局事務所庁舎等への保全指導と保全状況の推移について	東北地方整備局 営繕部 調整課	成田 章
マネジメント	高田松原津波復興祈念公園 国営追悼祈念施設の整備について	東北地方整備局 仙台河川国道事務所 設計課	小高 敏也
マネジメント	官庁施設における顧客満足度調査について	東北地方整備局 営繕部 整備課	佐藤 翔太

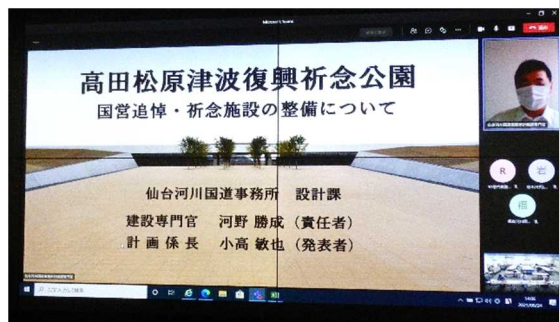
なお、管内業務発表会の詳細及び論文については、下記の東北地方整備局ホームページからご覧いただけます。

<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/happyoukai/R3/index.html>

最後に、発表者の皆様、大変お疲れ様でした。
来年度も、管内業務発表会への積極的な参加をお待ちしております。



[発表風景]



[Web 会議システム画面]

2. 日常的な対応が必要な事項

- ・屋上等の防水層や、外壁仕上げ材等に浮き、剥がれ、亀裂等が無いかの確認
- ・シーリング材に破断、変形、損傷等が無いかの確認
- ・建具のガラス面の傷、破損等が無いかの確認
- ・樹木の枝枯れや傾き等の確認（必要に応じて除去）
- ・架空線、引き込み線（電線）にたるみや損傷が無いか、樹木等との距離は十分かの確認



劣化した窓まわりのシーリング。
止水性能が損なわれ、特に強風時は室内へ
漏水の可能性があります。

3. 停電や被害の発生への備え

- ・自家発電設備の点検（燃料の量、配管等からの油漏れの有無等）
- ・非常用照明が点灯するかの確認
- ・懐中電灯、ポータブルラジオ、乾電池、非常食等の準備
- ・被害が発生した場合に応急処置をするための用具の準備（ひも、ロープ、ビニールシート、養生テープ、新聞紙、バケツ、雑巾、工具類等）



非常用照明の点検コードを引いて、点灯す
ることを確認。
（点灯しない場合は、バッテリー交換など
適切な処置をお願いします）

4. 台風が通り過ぎた後の対応

台風が通り過ぎた後、被害があった場合は、危険箇所への立入禁止等の措置を講じ、二次災害の防止に努めるなど、施設利用者等の安全確保をお願いします。

また、漏水や機器類の故障等が発生した場合には、発生状況等について記録するようお願いいたします。記録により不具合発生時の条件が把握でき、原因究明や修繕方法等の検討に役立ちます。

■ 保全に関する相談窓口

東北地方整備局 営繕部 保全指導・監督室 担当者：室長補佐

TEL 022-225-2171(内線 5513) E-mail: thr-82kantoku@mlit.go.jp

東北地方整備局 盛岡営繕事務所

担当者：保全指導・監督官室長

TEL 019-651-2015

E-mail: thr-moriei@mlit.go.jp

営繕とうほく編集室

〒980-8602

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟
東北地方整備局 営繕部 計画課内
TEL 022-225-2171 (代表)
E-mail: thr-82keikaku@mlit.go.jp

ホームページアドレス

- 東北地方整備局 <https://www.thr.mlit.go.jp/>
- 盛岡営繕事務所 <https://www.thr.mlit.go.jp/moriei/>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます